參考資料

【用語解説】

(あ行)

- IoT (アイオーティー)
- ICT (アイシーティー)
- AI (イーアイ)
- AI オンデマンド交通

(か行)

- カーボンニュートラル
- 街区公園
- 家屋倒壊等氾濫想定区域
- 河川防災ステーション
- 確率論的地震動予測地区
- 近隣公園
- 健都イノベーションパーク

(さ行)

- 災害危険区域
- シェアサイクル
- 市街化区域
- 市街化調整区域
- 市街地再開発事業
- 住宅マスタープラン
- 生活道路
- 生産緑地制度
- Society 5.0 (ソサエティ-5.0)

(た行)

- 高台まちづくり
- 短時間強雨
- 地域防災計画
- 地区計画

- 超小型モビリティ
- DID (ディーアイディー)
- 都市施設
- 土砂災害特別警戒区域
- 土地区画整理事業
- 鳥飼まちづくりグランドデザイン

(な行)

- 内水浸水想定区域
- 南海トラフ地震

(は行)

- ハザードマップ
- バリアフリー
- Project PLATEAU (プロジェクトプラトール)
- 防災協力農地

(ま行)

- 緑の基本計画

(や行)

- 用途地域

(ら行)

- ライフライン
- 連続立体交差事業

(あ行)

● IoT (アイオーティー) (72 ページ)

世の中に存在する様々な物体に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測等を行うこと。Internet of Things の略称。

● ICT (アイシーティー) (72 ページ)

情報や通信に関連する科学技術の総称。Information and Communication Technology の略称。

● AI (アイアイ) (72 ページ)

知的な機械、特に知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術のこと。人工知能。Artificial Intelligence の略称。

● AI オンデマンド交通 (34 ページ)

人工知能を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステム。

(か行)

● カーボンニュートラル (7 ページ)

太陽光発電や各種省エネルギー設備の導入等により、CO₂ 排出量を削減するとともに、直接的に削減が困難な CO₂ についても排出枠購入等の方法により相殺することによって、排出削減量と吸収量がイコールの状態とし、CO₂ 排出量を実質的にゼロにすること。

● 街区公園 (16 ページ)

主として街区内に居住する者の利用に供することを目的とする公園。

● 家屋倒壊等氾濫想定区域 (43 ページ)

想定最大規模降雨により近傍の堤防が決壊等した場合に、現行の建築基準に適合する一般的な建築物の倒壊・流出をもたらすような氾濫等が発生することが想定される区域を示したものの。

● 河川防災ステーション (31 ページ)

水防活動を行う上で必要な土砂等の緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸等に必要な作業面積を確保するもの。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧等を迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として活用される施設。

● 確率論的地震動予測地図 (17 ページ)

国立研究開発法人防災科学技術研究所により、全ての地震の位置・規模・確率に基づき、各地点がどの程度の確率でどの程度揺れるのかをまとめて計算し、その分布を地図に示したものの。

● 近隣公園 (16 ページ)

主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園。

● 健都イノベーションパーク (32 ページ)

摂津市において正雀下水処理場跡地及びグリーンセンター跡地を「健都イノベーションパーク」と名付け、国立循環器病研究センターを中心とした医療及び健康関連の研究機関や企業等が集積する国際級の複合医療産業拠点(医療クラスター)の形成を図るため、企業や大学の研究機関、サテライトオ

フィス等の進出用地として位置付けている。

(さ行)

● 災害危険区域 (17 ページ)

建築基準法の規定に基づき、津波、高潮、出水等による危険の著しい区域を条例で指定したものを。

● シェアサイクル (34 ページ)

相互利用可能な複数のサイクルポートが設置された、面的な都市交通に供されるシステム。

● 市街化区域 (3 ページ)

既に市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

● 市街化調整区域 (28 ページ)

住宅建設等による市街化を抑制し、自然環境等を守る区域として、開発や建築が制限されている区域。

● 市街地再開発事業 (2 ページ)

市街地内における土地利用の細分化や老朽化した木造建築物の密集、十分な公共施設がない等の都市機能の低下がみられる地域において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的として、建築物及び建築敷地の整備並びに公共施設の整備に関する事業。

● 住宅マスタープラン (3 ページ)

住生活分野に関する施策の基本的な方針を示すもので、他分野の計画と連携・補完しながら、総合計画で掲げる将来像の実現をめざす分野別計画と位置づけられる。摂津

市では、平成31(2019)年3月に「摂津市住宅マスタープラン(摂津市住生活基本計画)」を改定している。

● 生活道路 (32 ページ)

地域で生活する人が、住宅等から主要な道路に出るまでに利用する道のこと。都市部では路地、農村部では農道などとも呼ばれ、また私道のように私設の道もこの一部である。幅員が狭い所も多く、頻繁に自動車を通ることを前提としていない。

● 生産緑地制度 (32 ページ)

市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用があり、公共施設等の敷地として適している一定面積以上の農地を都市計画に定め、建築行為等を許可制により規制し、都市農地の計画的な保全を図る制度。

● Society 5.0 (ソサエティ5.0) (72 ページ)

第5期科学技術計画で示された概念で、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す革変を科学技術イノベーションが先導していく、という意味が込められている。サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

(た行)

● 高台まちづくり (31 ページ)

鳥飼まちづくりグランドデザインにおいて、摂津市で推進している高台まちづくりは、浸水しない安全な場所への事前の広域避難を原則としつつ、特に広域避難が困難な避難行動要支援者の生命と身体を守るた

めの高台にした避難場所をまちづくりと一体となって確保するもので、その避難場所である「高台」をネットワーク化し、長期化する浸水被害からさらに安全な場所に避難・救出できるようにすることとしている。

- **短時間強雨** (7 ページ)
1 時間当たりの降水量が 30mm 以上の大雨。

- **地域防災計画** (3 ページ)
災害対策基本法の規定に基づき、市民の生命や財産を災害から守るための対策を実施することを目的とし、災害に係わる事務または業務に関し、関係機関及び他の地方公共団体の協力を得て、総合的かつ計画的な対策を定めた計画。摂津市では、令和元(2019)年度に「摂津市地域防災計画」を修正している。

- **地区計画** (38 ページ)
比較的小規模の地区を対象に、地権者と区市町村が連携しながら、それぞれの区域の特性に相応しい、良好な環境の整備、保全を目的として定められる計画。地区整備計画において、道路・公園等の位置や建築物等のルールを定める。

- **超小型モビリティ** (34 ページ)
自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる 1 人から 2 人乗り程度の車両。

- **DID (ディアイディー)** (26 ページ)
国勢調査の基本単位区を基礎単位とし、市区町村の境域内で人口密度の高い地域として設定された範囲。人口集中地区とも呼ばれる。(Densely Inhabited Districts の略称。)

- **都市施設** (3 ページ)

都市計画で定める道路、公園、下水道等の公共施設。円滑な都市活動や良好な都市環境を保持するために必要不可欠なもので、都市施設に関する都市計画では、都市施設の種類、名称、位置、構造等を定めることになっている。

- **土砂災害特別警戒区域** (17 ページ)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制をすべき土地の区域として政令で定める基準に該当する区域。レッドゾーンとも呼ばれる。

- **土地区画整理事業** (3 ページ)

道路・公園等の公共施設の整備や宅地利用の増進など、快適な市街地環境の形成を図るために、土地の区画や形態を変更する事業。

- **鳥飼まちづくりランドデザイン**

(3 ページ)

鳥飼地域が直面する課題、特に高い水害リスクから住民の生命と身体を守る「危機管理(防災)」の観点を起点に、地域資源に着目し、地域の特性に合わせたまちづくりの方向性を取りまとめた計画であり、摂津市では令和 4 (2022) 年 7 月に策定している。

(な行)

- **内水浸水想定区域** (43 ページ)

地域の既往最大級の降雨や他地域での大規模な降雨、想定最大規模降雨等の下水道

の雨水排水能力を上回る降雨が生じた際に、下水道その他の排水施設の能力不足や河川の水位上昇に伴い当該雨水を排水できない場合に、浸水の発生が想定される区域や実際に浸水が発生した区域。

● 南海トラフ地震 (7 ページ)

南海トラフ沿いで、陸側のプレートが引きずり込みに耐えられなくなり跳ね上がることで発生する地震。

(は行)

● ハザードマップ (53 ページ)

地震や洪水等の自然災害に備えて、災害が起こった場合の被害の程度を予測して示すとともに、避難場所や避難経路等を示した地図。

● バリアフリー (32 ページ)

高齢者や障害者など、誰もが生活しやすいように、道路や住宅等の日常生活に支障となる段差等の障壁を取り除くこと。

● Project PLATEAU (プロジェクト プラト) (43 ページ)

国土交通省が主導する 3D 都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクト。

● 防災協力農地 (53 ページ)

農家が所有する農地について、農家や農家の同意を得た JA 等が地方自治体と災害発生時の避難空間、仮設住宅建設用地等として利用する内容の協定・登録等を自主的に実施する取り組み。

(ま行)

● 緑の基本計画 (3 ページ)

平成 6 (1994) 年 6 月の都市緑地保全法改正に伴い創設された、中長期的な観点で策定する都市の緑の保全と緑化に関する基本計画。摂津市では、平成 26 (2014) 年 3 月に「摂津市緑の基本計画」を改定している。

(や行)

● 用途地域 (3 ページ)

都市計画法に基づく地域地区のうち、最も基本となるもので、地域に応じて建築物の用途や高さ等の形態について、一定の制限を定めることにより、土地利用を方向づけるもの。都市の環境保全や機能促進のために、住居系、商業系、工業系等の地域に分けられる。

(ら行)

● ライフライン (31 ページ)

日常生活に不可欠である電気・電話・ガス・水道等のネットワークシステムを示す。なお、現在の都市防災を考える上での重要な視点となっている。

● 連続立体交差事業 (2 ページ)

道路と鉄道が交差する一定区間の鉄道を、高架化もしくは地下化し、踏切を無くす事業。踏切による交通渋滞や事故の解消、鉄道により分断されていた市街地の一体化等の効果がある。

【出典】

第2章 現状の整理

- P6 日本の将来推計人口
「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（社人研）を加工して作成
- P10 人口・世帯数の推移
「国勢調査結果」（昭和50(1975)年～令和2(2020)年 総務省）を加工して作成
- P11 人口密度図（250mメッシュ）
「国勢調査結果」（令和2(2020)年 総務省）を加工して作成
将来人口推計
「2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書」
- P12 年齢3区分別人口の推移
「国勢調査結果」（昭和55(1980)年～令和2(2020)年 総務省）を加工して作成
- P13 土地利用現況図
「令和2(2020)年度都市計画基礎調査」
- P17 浸水想定区域図
「防災ブック」（令和4(2022)年3月発行 摂津市）
- P18 確率論的地震動予測地図
「確率論的地震動予測地図」（令和2(2020)年 国立研究開発法人防災科学技術研究所）を加工して作成

第3章 基本理念及び目標・将来都市構造

- P26 将来人口推計
「2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書」を加工して作成

第4章 全体構想

- P31 河川防災ステーションイメージ
「国土交通省ウェブサイト」
<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001472689.pdf>（アクセス日：令和5(2023)年12月27日）

- P34 シェアサイクルの事例
「国土交通省ウェブサイト」
<https://www.mlit.go.jp/common/001230127.pdf> (アクセス日: 令和 5 (2023) 年 12 月 27 日)
- AI オンデマンド乗合交通の事例
「国土交通省ウェブサイト」
<https://www.tb.mlit.go.jp/kanto/content/000164463.pdf> (アクセス日: 令和 5 (2023) 年 12 月 27 日)
- 公共交通に係る新技術の事例
「国土交通省ウェブサイト」
https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/juten_eki/theme_model01_h29.html
(アクセス日: 令和 5 (2023) 年 12 月 27 日)
<https://www.mlit.go.jp/common/001299643.pdf> (アクセス日: 令和 5 (2023) 年 12 月 27 日)

第 5 章 立地適正化計画

- P43～52 人口密度分布
「国勢調査結果」(令和 2(2020)年 総務省)を加工して作成
- 避難所分布
「防災ブック」(令和 4(2022)年 3 月発行 摂津市)
- 「Project PLATEAU データ」(令和 2(2020)年 国土交通省)を加工して作成
- 洪水浸水想定区域
「浸水想定区域図データ」(令和 2(2020)年 国土交通省)を加工して作成
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流、河岸侵食)
「浸水想定区域図データ」(令和 2(2020)年 国土交通省)を加工して作成
- 浸水継続時間
「浸水想定区域図データ」(令和 2(2020)年 国土交通省)を加工して作成
- 内水浸水想定区域
「内水浸水想定区域図」(平成 26(2014)年 摂津市)を加工して作成
- 確率論的地震動予測
「確率論的地震動予測地図」(令和 2(2020)年 国立研究開発法人防災科学技術研究所)を加工して作成

第6章 地域別構想

- P56 浸水想定区域図
「防災ブック」(令和4(2022)年3月発行 摂津市)
土地利用現況図
「令和2(2020)年度都市計画基礎調査」
- P58 北部地域 3区分別人口の推移
「国勢調査結果」(平成17(2005)年～令和2(2020)年 総務省)を加工して作成
- P61 中部地域 3区分別人口の推移
「国勢調査結果」(平成17(2005)年～令和2(2020)年 総務省)を加工して作成
- P64 南西部地域 3区分別人口の推移
「国勢調査結果」(平成17(2005)年～令和2(2020)年 総務省)を加工して作成
- P67 南東部地域 3区分別人口の推移
「国勢調査結果」(平成17(2005)年～令和2(2020)年 総務省)を加工して作成
- P68 河川防災ステーション整備イメージ
「国土交通省ウェブサイト」
<https://www.mlit.go.jp/report/press/content/001472688.pdf> (アクセス日: 令和5(2023)年12月27日)